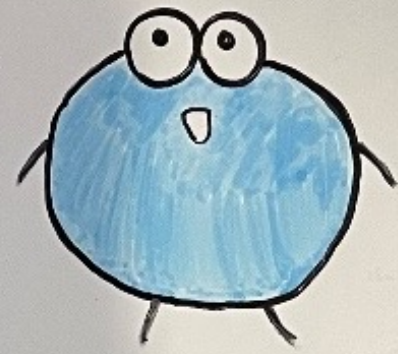


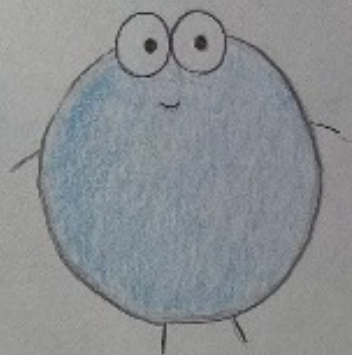
さん

くん



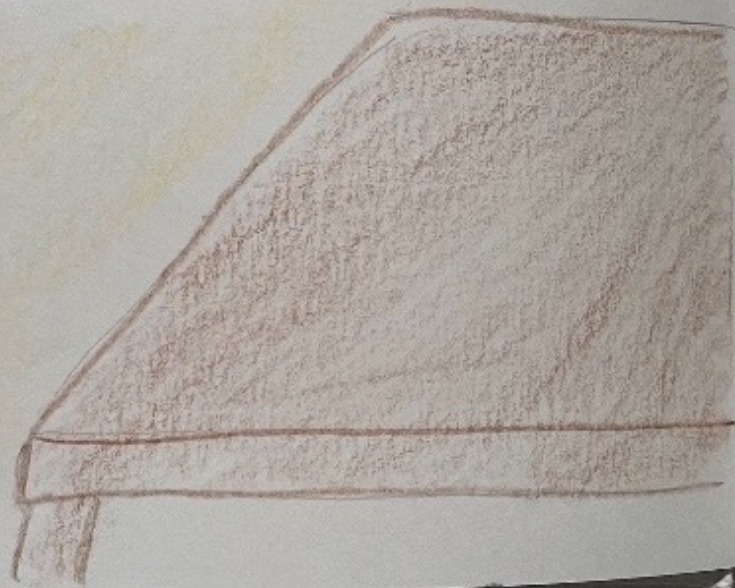
もりあな

さんそくんは  
お友達をさがしに  
でかけました



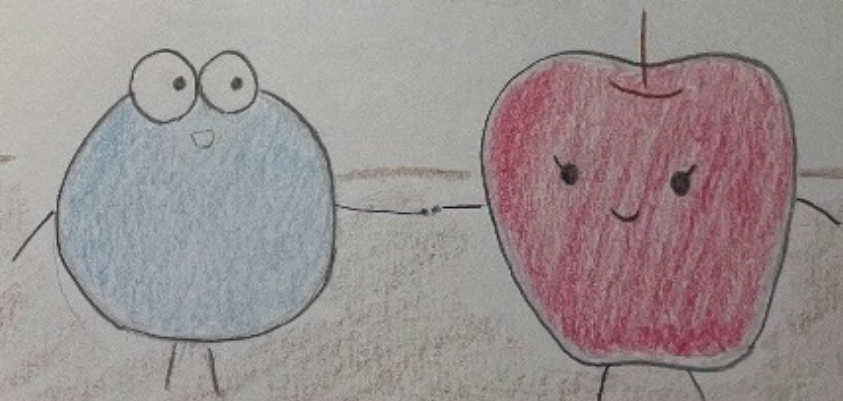


すると...  
りんごちゃんに  
であいました



うん!

いっしょに  
あそぼうよ!

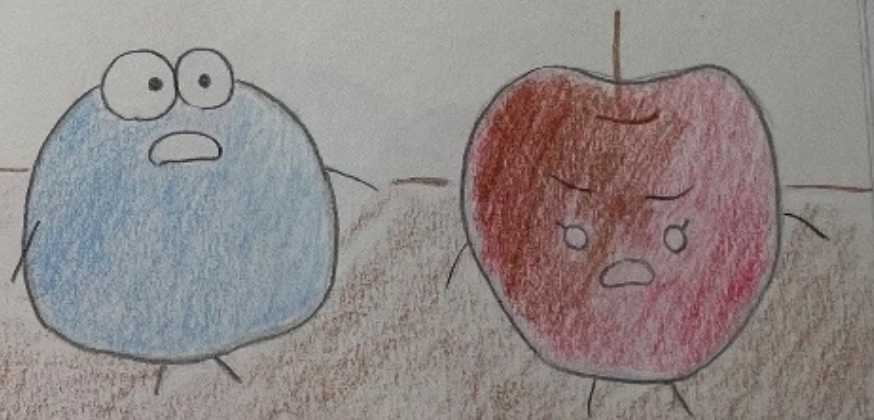




しばらく  
あそんでいと



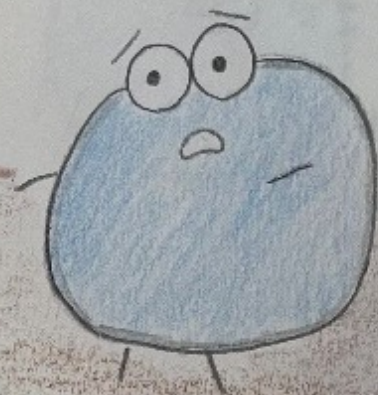
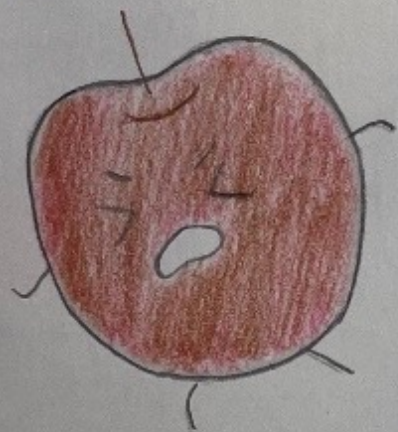
みるみるうちにりんごちゃんは  
茶色くなって、ていってしまった





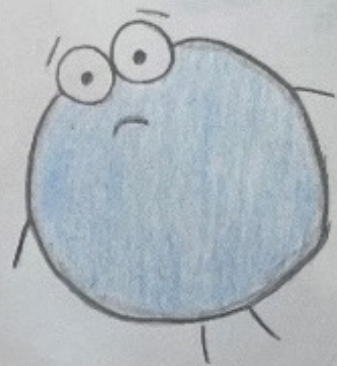
「きみのせいだ!」

りんごちゃんはこのゆが、て  
にげていってしまいました。





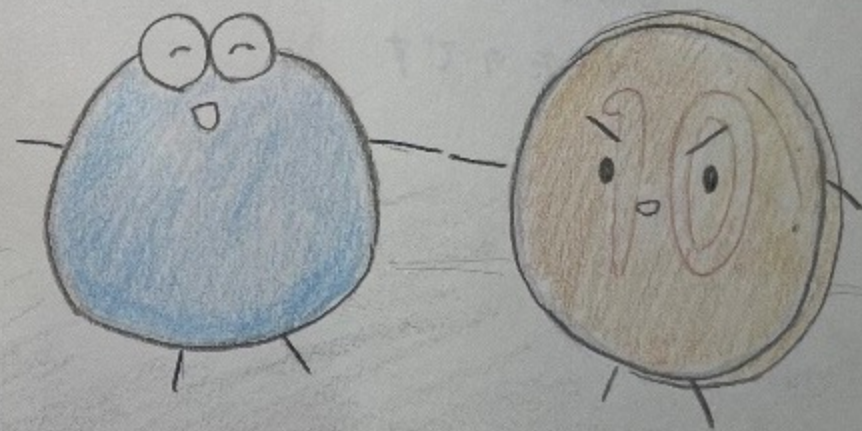
ひとりになってしまった  
さんそくんはまた  
お友達をさがしに  
でかけました





するとこんどは10円玉くん  
であいました

友達になろう!





すると... ピカピカだった10円玉くん  
もみるみるうちにさびていって  
しまったのです。





「おまえのせいだ！」

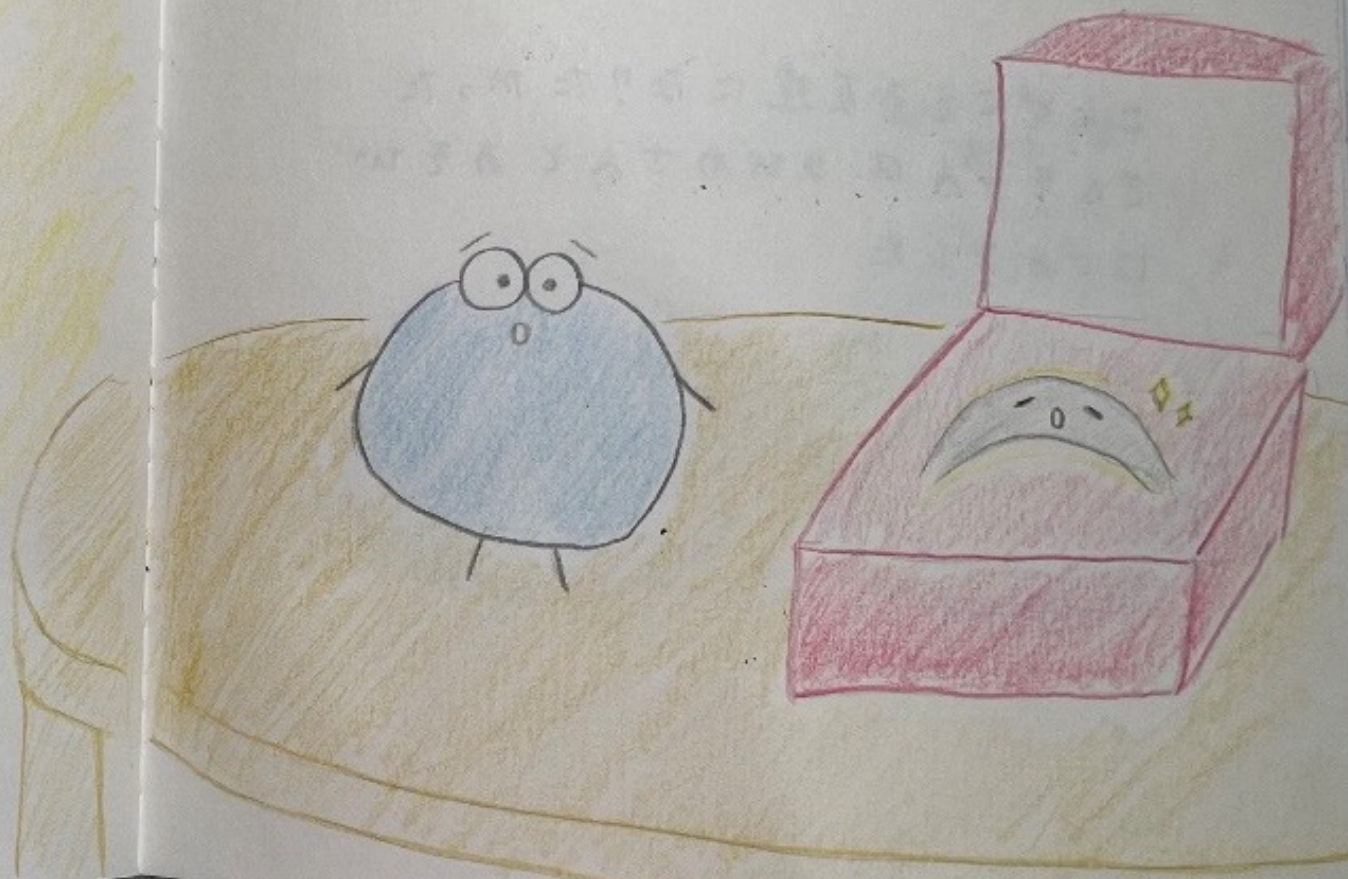
10円玉くんはおこ、て

行、てしまいました



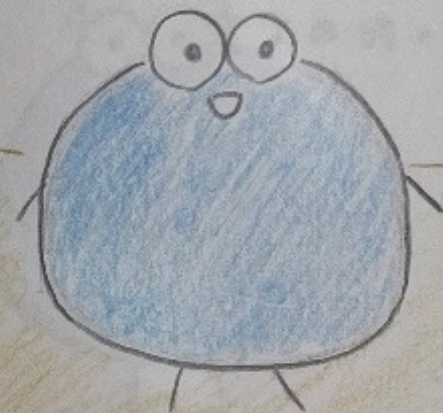


またひとりになってしまった  
さんそくん  
こんどはキラキラかがやく  
ゆいゆさんとであいました





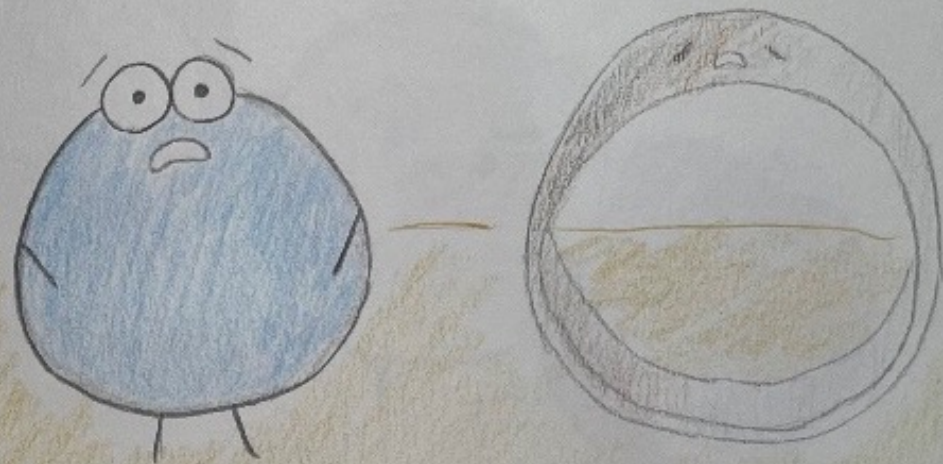
こんどこそお友達になりたかった  
さんそくんは、ゆびゆさんとあそび  
はじめました





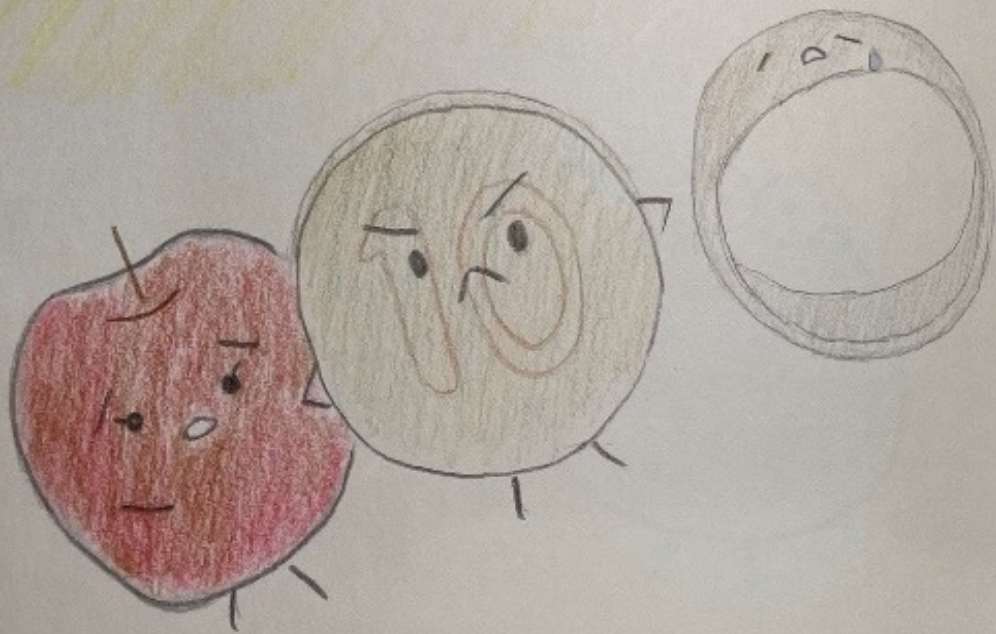
すると...

またまたゆびわさんも  
茶色くかわれていたのです





さんそくんのうぬさはまたたくまに  
広が、ていき

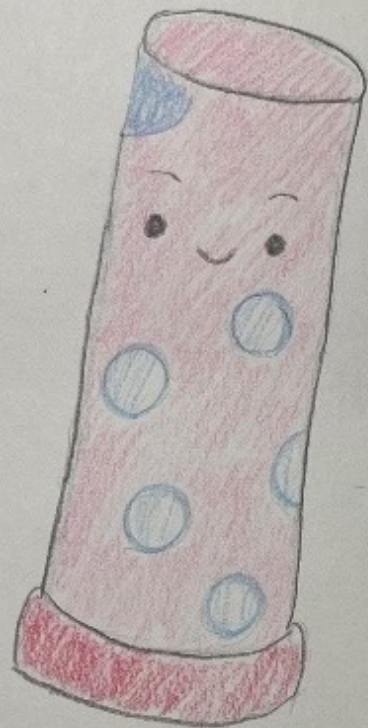


さんそくんに近よる人は  
いなくな、てしまいました。





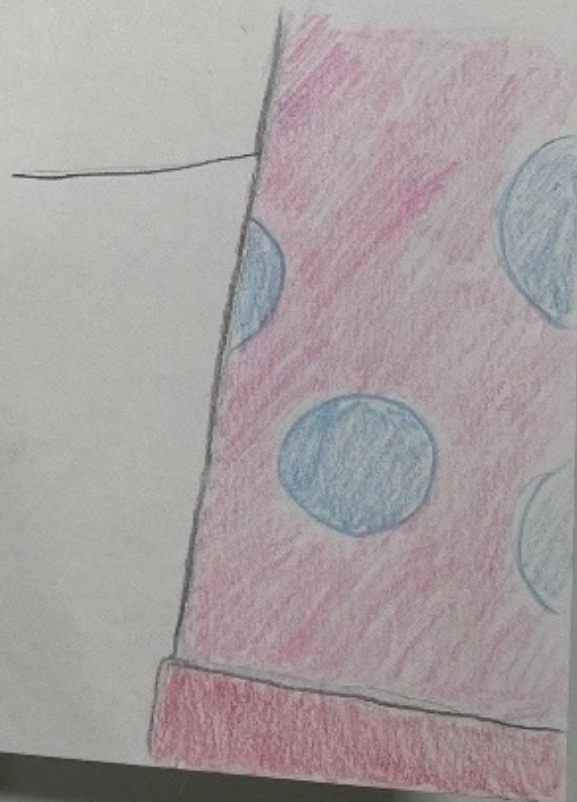
「みんなを傷つけちゃう」  
みんながにげていくなかひとり  
近づいてくる子がいました



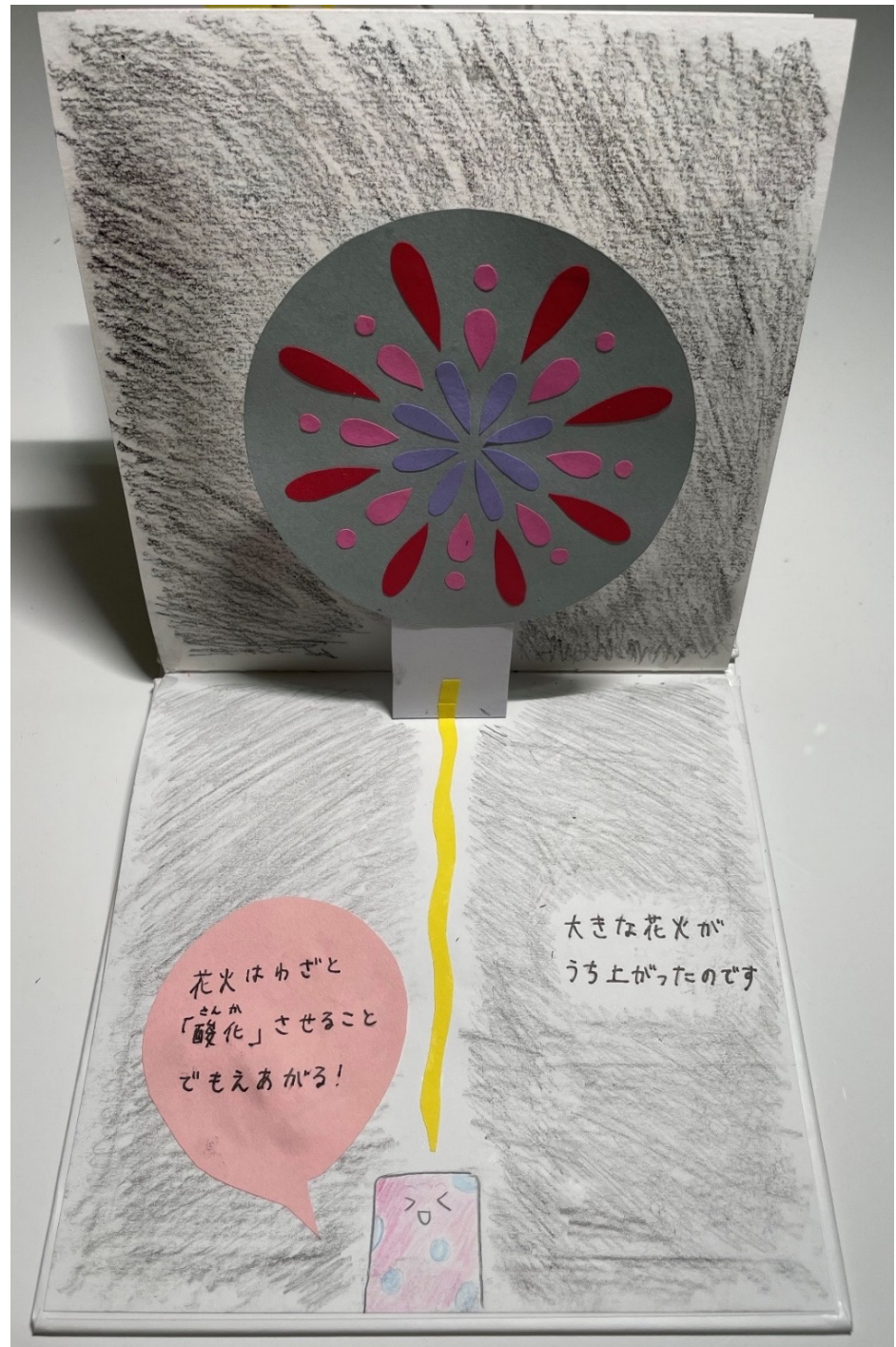
「友達になろう！さんそくんが必要なんだ！」

「でもきみの色を変えちゃうかもしれない…」

こわがりながらも手を伸ばすと…







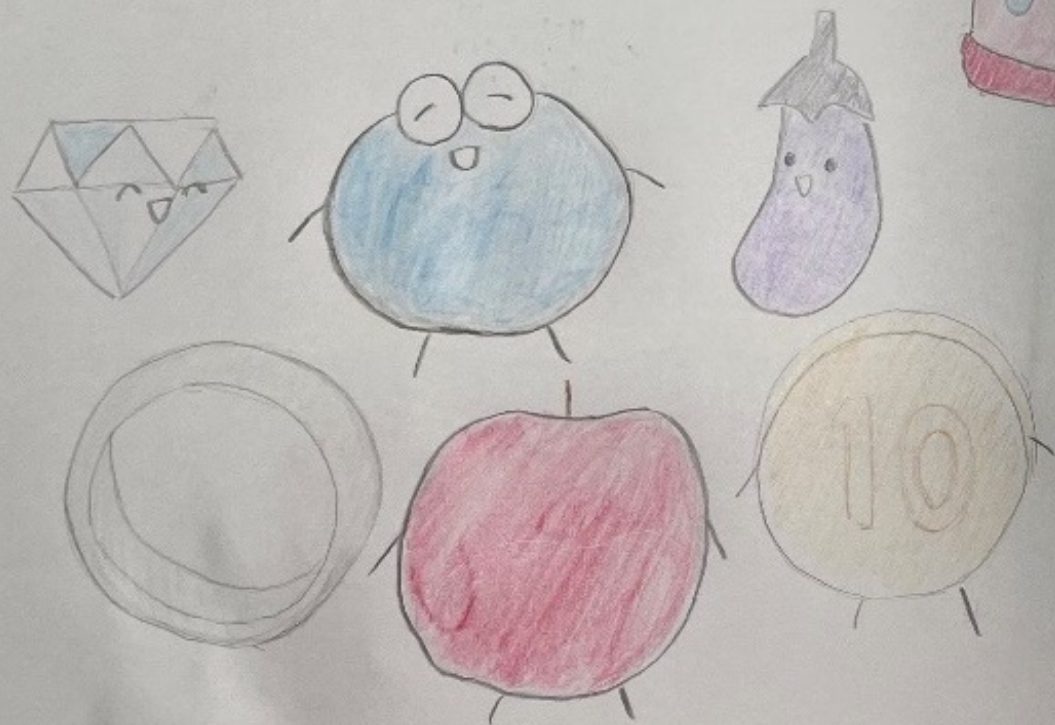
花火はわざと  
「酸化」させること  
でモエあがる!

大きな花火が  
うち上がったのです



「すごい！」 「もう1回みせて！」

花火をみたみんながさんそくんの  
もとに集まってきた口々にいりました



このあとたくさん花火をうちあげて  
さんそくんは人気者になりました